

2021（令和3）年度事業報告書
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

I 主要な会議

1 理事会

| 開催日 | 議案等 | 備考 |
|------------|---|----------------|
| 令和3年5月28日 | ① 令和2年度事業報告及び決算の件 ② 定時評議員会の開催の件 〈報告事項〉 令和2年度資金運用の経過の件 | 通常理事会 （第1回） |
| 令和3年10月21日 | 令和3年度収支予算の変更の件 〈報告事項〉 ① 令和3年度事業報告（上半期）の件 ② 令和3年度資金運用の経過の件 | 通常理事会 （第2回） |
| 令和4年2月7日 | ① 2022（令和4）年度事業計画及び収支 予算の件 ② 2022（令和4）年度資金運用の執行方 針及び計画の件 ③ 財務関係規程の制定及び変更の件 ④ 財団規則の変更の件 ⑤ 臨時評議員会開催の件 | 通常理事会 （第3回） |
| 令和4年3月25日 | 評議員会の開催（書面表決） | 書面表決 |

2 評議員会

| 開催日 | 議案等 | 備考 |
|-----------|---|--------|
| 令和3年4月1日 | 評議員の選任の件 | 書面表決 |
| 令和3年6月17日 | 令和2年度計算書類等の件 〈報告事項〉 ① 令和2年度事業報告書の内容の件 ② 令和2年度資金運用の経過の件 | 定時評議員会 |
| 令和4年2月17日 | 〈報告事項〉 ① 2021（令和3）年度収支予算の変更の 件 ② 2022（令和4）年度事業計画及び収支 予算の件 ③ 2022（令和4）年度資金運用の執行方 針及び計画の件 | 臨時評議員会 |

II 事業報告

【公益目的事業会計】

1 屋久島環境文化村構想推進事業

(1) 環境学習

① 自然・文化体験事業

ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り、屋久島のフィールドを活用した自然・文化体験学習プログラムを提供するとともに町内外の方々との交流等を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点等から、一部を除き中止とした。

| 名称 | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
|------------------------|--|---------------------|------|
| まるごと屋久島研修講座～里編～ | | | |
| | 武田産業見学 千尋の滝 大川の滝 西部林道 | 令和3年4月17日 | 17人 |
| まるごと屋久島研修講座～森編～ | | | |
| | ヤクスギランド 50分（初心者）コース 散策 | 令和3年4月24日 中止 | — |
| 親子キャンプin屋久島 | | | |
| | 田代海岸 テント設営及びキャンプ飯 白谷雲水峡 7000年の森 | 令和3年5月2日～4日 中止 | — |
| 海辺deデイキャンプ | | | |
| | サゴシ浜, 西海岸（栗生 塚崎海岸）で シュノーケリング →海上不良のため一湊海岸に変更 | 令和3年7月11日 | 9人 |
| やくしま水旅 | | | |
| | 栗生, 塚崎海岸でシュノーケリング | 令和3年9月18日～20日 中止 | — |
| 秋のトレッキング | | | |
| | いざゆかん、静かな未知の森へ～縄文 杉に次ぐ 第二の巨木を探しに～ | 令和3年11月14日 | 3人 |
| 冬期セミナー 島民向け1日型セミナー（2回） | | | |
| | 走って!!隠れて!!食べて!? 森の中で逃走中 | 令和4年2月20日 中止 | — |
| | 作ろう！世界にひとつだけのマイ苔玉！ | 令和4年3月6日 中止 | — |

イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に、ふるさとの新たな一面を再発見し、その自然環境や文化に対する意識向上等を図るため、屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部を除き中止とした。

| 名称 | | | |
|---|---|---------------------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| <p><星空観察会> 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行う。</p> | | | |
| | 春の星空観察会（宮浦小学校） | 令和3年4月30日 中止 | — |
| | 秋の星空観察会（永田小学校） | 令和3年9月24日 中止 | — |
| | 冬の星空観察会（八幡小学校） | 令和4年2月22日 中止 | — |
| <p><子どもエコ隊活動事業> 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上や、屋久島の未来を担う人材の育成を図った。</p> | | | |
| | エコ隊員ジュニアインストラクター任命式、SDGs環境編① | 令和3年7月3日～4日 | 20人 |
| | SDGs社会・フィールドワークとSDGs環境編② | 令和3年11月6日～7日 | 20人 |
| | エコ隊まとめ（SDGsボードゲーム作成or全国世界遺産学習会発表準備&保護者報告会） | 令和4年2月5日～6日 中止 | — |
| <p><研修センターオープンデー> 研修センターを無料開放し、親子で楽しめる工作・自然体験・観察等を行う。</p> | | | |
| | <p>「どきどき観察」 いろいろな昆虫を見てみよう 期間限定!やくしま水族館 「わくわく自然体験」 火をおこしチャレンジ ネイチャーゲーム 「楽しい工作体験」 プーマラン・空気砲など</p> | 令和3年6月20日 中止 | — |
| <p><幼児環境教育推進事業> 幼少時代からの環境意識の向上を図るため、町内未就学児の親子を対象に野外体験活動を実施した。</p> | | | |
| | 「秋のあそび場」 | 令和3年10月24日 中止 | — |
| | 「森のクリスマス会」 | 令和3年12月5日 | 13人 |
| | 「焚き火でほくほく焼きいもの会」 | 令和4年1月16日 | 13人 |
| | 「親子deわくわくチャレンジキャンプ」 | 令和4年2月26日～27日 中止 | — |

| 名称 | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
|-------------------------|--|-----------|------|
| FOREST DAY ～森と人がつながる1日～ | | | |
| | 森と人の関係についての意識の向上を図るため、森に触れ、森に親しむ体験活動を実施した。 ※雨天のため、屋内体験のみ実施。 | 令和4年1月23日 | 120人 |

その他

| |
|---|
| <p><自然に親しむ集い> (年3回)</p> <p>町内在住者を対象に、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を予定していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止とした。</p> |
|---|

ウ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、8月16日から30日まで岐阜大学大学院1年の(男子)学生を屋久島環境文化研修センターで職場体験をさせた。

② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

また、利用団体からオンライン研修の要望があったことから、試行的に実施した。(令和4年度から「短時間研修」として実施予定)

なお、鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づき、同大学共通教育課程で実施する集中講座「屋久島の環境文化」については、同大学で講義を行った。(例年屋久島で実施しているフィールド学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止)

| 区分 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| | 団体数 | 参加者数 | 団体数 | 前年同期比 | 参加者数 | 前年同期比 |
| 宿泊研修 | 22団体 | 1,191人 | 42団体 | 190.9% | 2,345人 | 196.9% |
| 一日研修 | 31団体 | 813人 | 38団体 | 122.6% | 906人 | 111.4% |
| 短時間研修 | 2団体 | 12人 | 5団体 | 250.0% | 46人 | 383.3% |
| 合計 | 55団体 | 2,016人 | 85団体 | 154.5% | 3,297人 | 163.5% |

※オンライン研修として実施

| 名称 | | | |
|---------------|------------------|-----------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 郁文館高校 | | | |
| | オンライン授業（屋久島の概要） | 令和3年5月12日 | 36人 |
| 春日部高校・茗溪学園 | | | |
| | オンライン授業（屋久島の概要） | 令和3年7月13日 | 24人 |
| 鹿児島大学（共通教育課程） | | | |
| | オンライン授業（屋久島の概要） | 令和3年8月11日 | 4人 |
| 鹿児島大学農学部，岩手大学 | | | |
| | オンライン授業（屋久島の概要） | 令和3年9月1日 | 25人 |
| 郁文館高校 | | | |
| | オンライン授業（屋久島の生態系） | 令和3年9月13日 | 36人 |
| 合計 | | 5回実施 | 125人 |

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校普通科環境コースの生徒を対象に，屋久島・口永良部島の自然，歴史，文化について理解を深めるため，環境学習に関する研修，他の地域で環境保全活動を行っている団体等との交流に対して支援を行った。

また，令和3年8月3日～5日に屋久島環境文化研修センターを会場として「第22回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会」が開催され（全国6校から生徒・教職員合わせて42人が参加），開催に向けて，生徒の課題研究等への支援，円滑な運営に向けてのサポートや経費の一部助成を行った。

| 名称 | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 一日研修 | | | |
| | 実地研修（ヤクスギランド） | 令和3年5月6日 | 12人 |
| 宿泊研修 | | | |
| | 実地研修（春田浜，ヤクスギランド） | 令和3年6月15日～16日 | 12人 |
| 宿泊研修 | | | |
| | 実地研修（サミットリハーサル） | 令和3年7月6日～7日 | 12人 |
| 屋久島高校ほか全国高校生環境サミット参加校 | | | |
| | オンラインによる参加校の研究発表会 | 令和3年7月18日 | 42人 |

| 名称 | | | |
|------------------------------------|--|----------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 一日研修 | | | |
| | 環境サミット準備等最終チェック | 令和3年8月2日 | 8人 |
| 第22回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会 1日目 | | | |
| | 開会式 フィールドワーク①② | 令和3年8月3日 | 42人 |
| 第22回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会 2日目 | | | |
| | フィールドワーク③④ 基調講演「屋久島の成り立ち」 ワークショップ① | 令和3年8月4日 | 42人 |
| 第22回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会 3日目 | | | |
| | フィールドワーク⑤ ワークショップ② 自然環境宣言 閉会式 | 令和3年8月5日 | 42人 |
| 合計 | | 8回実施 | 212人 |

参加校 6校

屋久島高校（鹿児島県） 生徒17人 引率者4人
 標茶高校（北海道） 生徒2人 引率者1人
 尾瀬高校（群馬県） 生徒5人 引率者1人
 柏陵高校（福岡県） 生徒3人 引率者1人
 辺土名高校（沖縄県） 生徒2人 引率者3人
 唐津青翔高校（佐賀県） 教諭 2人
 講師 中間 弘 氏（前屋久島高校長 現樟南高校教諭） 合計42人

④ 出張屋久島講座

町内の児童・生徒のほか、今年度は試行的に利用団体からの要望により、郁文館高校、鹿児島大学などで実地研修の事前学習としてオンラインによる屋久島の環境学習を行った。

| 名称 | | | |
|-------------|--------------------|-------------------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 八幡小学校 5・6年 | | | |
| | 実地研修（有水製材所・武田産業） | 令和3年6月23日 （午前） | 26人 |
| 小瀬田小学校 3～6年 | | | |
| | SDGs研修（SDGsボードゲーム） | 令和3年6月23日 （午後） | 26人 |
| 中央中学校 1年生 | | | |
| | 講義・ワークショップ | 令和3年6月25日 | 59人 |

| 名称 | | | |
|---------------------------|---|--------------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 屋久島高校ほか全国高校生環境サミット参加校（再掲） | | | |
| | 基調講演「屋久島の成り立ち」 （前屋久島高校長 中間 弘 氏） | 令和3年8月4日 | 42人 |
| 安房小学校1～6学年（特別支援学級に通級児童） | | | |
| | 草染めの体験 | 令和3年10月5日 | 24人 |
| 金岳小学校（全学年） | | | |
| | 口永良部島に生きる水生生物と自然環境について、SDGs研修（SDGsボードゲーム） | 令和3年10月6日～7日 | 16人 |
| 金岳中学校（全学年） | | | |
| | 口永良部島に生きる水生生物と自然環境について、SDGs研修（SDGsボードゲーム） | 令和3年10月6日～7日 | 12人 |
| 永田小学校3・4年生 | | | |
| | 土面川と私たちの生活 | 令和3年10月20日 | 6人 |
| 栗生小学校3・4年生 | | | |
| | 身近な昆虫を見てみよう | 令和3年10月20日 | 9人 |
| 中央中学校（2年生） | | | |
| | SDGs研修（SDGsカードゲーム） | 令和3年12月1日 | 60人 |
| 柏原小学校（東串良町）（全学年）＋保護者 | | | |
| | 屋久島と世界の昆虫を見てみよう | 令和3年12月11日 | 40人 |
| 安房小学校（特別支援学級） | | | |
| | 拓本体験 | 令和3年12月14日 | 23人 |
| 安房中学校2年生 | | | |
| | SDGsと屋久島の概要 | 令和4年1月20日 | 26人 |
| 合計 | | 13回実施 | 369人 |

⑤ ユネスコスクール連携推進事業

国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整を図る、ユネスコスクールのグローバルなネットワークを活用するため、「持続可能な開発のための教育」（ESD）に取り組む島内教育機関のユネスコスクール登録のための活動を支援した。

| 教育機関名 | | | |
|-------------|--------------|-----------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 安房小学校①4年生 | | | |
| | ネイチャーゲーム | 令和3年5月7日 | 37人 |
| 安房保育園①年長 | | | |
| | ネイチャーゲーム | 令和3年5月13日 | 24人 |
| 安房保育園②年中 | | | |
| | ネイチャーゲーム | 令和3年5月14日 | 23人 |
| 安房小学校②3年生 | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年5月27日 | 37人 |
| 中央中学校1年生 | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年5月28日 | 59人 |
| 安房保育園③年少 | | | |
| | ネイチャーゲーム | 令和3年6月3日 | 13人 |
| 安房保育園④年少・年長 | | | |
| | ネイチャーゲーム | 令和3年6月11日 | 56人 |
| 八幡小学校4・6年生 | | | |
| | 講義（SDGs研修） | 令和3年6月17日 | 17人 |
| 安房小学校③4年生 | | | |
| | 実地研修（安房川） | 令和3年6月18日 | 37人 |
| 安房小学校④2年生 | | | |
| | 実地研修（春田浜） | 令和3年7月10日 | 34人 |
| 安房保育園⑤年長 | | | |
| | 実地研修（タイドプール） | 令和3年7月26日 | 34人 |
| 安房保育園⑥年中 | | | |
| | 実地研修（タイドプール） | 令和3年7月29日 | 35人 |
| 安房小学校⑤4年生 | | | |
| | 水をめぐる探求学習 | 令和3年9月15日 | 30人 |

| 教育機関名 | | | |
|----------------|-------------------|------------|------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 安房保育園（職員研修） | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年9月25日 | 20人 |
| 栗生小学校5・6年生+保護者 | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年10月4日 | 16人 |
| 安房小学校4年生 | | | |
| | 水をめぐる探求学習 | 令和3年10月8日 | 30人 |
| 永田小学校3・4年生 | | | |
| | 水生生物調査 | 令和3年11月2日 | 6人 |
| 屋久島高校（全学年） | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年11月2日 | 120人 |
| 安房小学校3年生 | | | |
| | 調べ学習の支援 | 令和3年11月8日 | 45人 |
| 安房中学校1年生 | | | |
| | 森林教室 | 令和3年11月11日 | 41人 |
| 永田小学校3・4年生 | | | |
| | 水生生物調査 | 令和3年11月15日 | 6人 |
| 屋久島高校1年生 | | | |
| | 黒潮キャンパス支援（探求学習支援） | 令和3年11月30日 | 39人 |
| 安房保育園（年少・年長） | | | |
| | 焚き火・パン作り | 令和3年12月7日 | 29人 |
| 安房保育園（年少・年長） | | | |
| | 焚き火・パン作り | 令和3年12月8日 | 27人 |
| 安房小学校2年生 | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年12月11日 | 39人 |

| 教育機関名 | | | |
|----------------------|----------------|------------|--------|
| | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
| 宮浦小学校 特別支援学級・2年生・4年生 | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年12月13日 | 55人 |
| 宮浦小学校 1年生・3年生・5年生 | | | |
| | SDGsボードゲーム | 令和3年12月14日 | 104人 |
| 安房保育園（職員研修） | | | |
| | SDGsカードゲーム | 令和3年12月25日 | 25人 |
| 安房保育園（年長） | | | |
| | 実地研修（ヤクスギランド） | 令和4年1月18日 | 34人 |
| 安房小学校4年生 | | | |
| | 世界遺産学習サミット発表準備 | 令和4年1月20日 | 32人 |
| 安房保育園（年少・年中） | | | |
| | 実地研修（ヤクスギランド） | 令和4年1月21日 | 25人 |
| 永田小学校3・4年生 | | | |
| | 世界遺産学習サミット発表準備 | 令和4年2月1日 | 6人 |
| 安房小学校4年生 | | | |
| | 世界遺産学習サミット発表準備 | 令和4年2月4日 | 32人 |
| 合計 | | 33回実施 | 1,167人 |

⑥ 屋久島研究講座

町内在住者を対象に、屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り、その未来を担っていく人材を育成するため、屋久島をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。（新型コロナウイルス感染拡大に配慮してオンラインでの開催を主とした。）

| 演題 | | | |
|---|------------|-----------------------|------|
| 講師 | 開催日 | 開催場所 | 参加者数 |
| 魚たちのさまざまな暮らしとその不思議 ～屋久島町口永良部島におけるこの10年の研究から～ | | | |
| 広島大学大学院教授 坂井 陽一 | 令和3年8月27日 | オンライン | 66人 |
| 屋久島憲法100周年記念シンポジウム | | | |
| 鹿児島国際大学 名誉教授 三木靖他 | 令和3年11月6日 | 安房総合センター オンライン | 122人 |
| 日本工営株式会社 金 仁周 | 令和3年11月7日 | 安房総合センター オンライン | 112人 |
| 屋久島スギと佐渡のスギ | | | |
| 新潟大学名誉教授 崎尾 均 | 令和3年11月26日 | オンライン | 334人 |
| 屋久島学ソサエティ | | | |
| 京都大学 教授 湯本貴和他 | 令和3年12月4日 | 屋久島環境文化村センター オンライン | 121人 |
| 琉球大学 助教 高嶋 敦史 | 令和3年12月5日 | 屋久島環境文化村センター オンライン | 118人 |
| 「ヤクシカと屋久島 神秘の森に小さなシカを追いかけて」 | | | |
| 北海道大学 教授 揚妻芳美 | 令和4年1月14日 | オンライン | 286人 |
| 「屋久島・薩南海域のサンゴ 絶滅危惧種「ハナサンゴモドキ」の繁殖を中心に」 | | | |
| 鹿児島水族館 学芸員 出羽尚子 | 令和4年1月18日 | オンライン | 223人 |
| 「屋久島から考える世界遺産のジレンマ」 | | | |
| 九州大学アジア・オセアニア 研究教育機構 准教授 田中 俊徳 | 令和4年2月15日 | オンライン | 277人 |
| 「屋久島はひと月に35日雨が降る 作家・林芙美子『浮雲』の世界」 | | | |
| 京都精華大学 特別研究員 王智弘 | 令和4年2月25日 | オンライン | 197人 |

※8月27日のオンライン開催以外は「申込者数」

(2) 環境形成

① 環境保全活動支援事業

ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部荒廃を防ぐため、縄文杉デッキにおける登山者へのマナー指導（5月2日、9月19日）や関係機関とともに、荒川登山道の安全点検（7月20日、2月22日）を行った。

また、「登山者のためのYAKUSHIMAマナーガイド」の日本語版・英語版を作成し、関係機関への配布を行った。

イ エコツーリズム支援事業

屋久島におけるエコツーリズムの取り組みを推進するため、屋久島町エコツーリズム推進協議会へ参加し、支援を行った。また、同協議会と連携して山岳ガイド業が閑散期となる冬場に各種のスキルアップ等を目的とした各種の研修会や講習会を実施した。

その他、自然体験活動指導者（NEAL）養成団体として、広く町内外から希望者を募り自然体験活動指導者養成講習会を実施した。

| 区分 | 開催日 | 参加者数 |
|--|------------------------------|------|
| 教員向け自然体験活動研修会 | 令和3年8月17日～18日 中止 | — |
| 人と自然をつなげる大人の遊び場 野外活動指導者養成セミナーin 屋久島 | 令和3年12月21日～24日 (当初6月開催予定) | 14人 |
| 自然体験活動指導者養成講習会（上級） | 令和3年12月21日～24日 中止 | — |
| 日本赤十字救急法基礎・救急員養成講習 | 令和4年2月22日 | 5人 |
| 屋久島ガイドセミナー | 令和4年2月24日～25日 | 5人 |

ウ 生物多様性保全事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

| | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 団体等名 | |
| 調査研究等内容 | |
| 近畿大学農学部水産学科水産生物学研究室 研究員 畑瀬 英男 | ウミガメの繁殖および孵化特性における時間的変異性と安定性 |
| 新潟大学佐渡自然共生科学センター フェロー 崎尾 均 | 屋久島におけるサツキの分布特性と生活史戦略 |
| 三重大学大学院生物資源学研究科 助教 北上 雄大 | 屋久杉の生育を支える土壌微生物群集を解き明かす |
| 近畿大学農学部 環境管理学科 准教授 早坂 大亮 | 鳥類からみる口永良部島の陸域生物多様性調査 |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 団体等名 | |
| 調査研究等内容 | |
| 岩手医科大学 教養教育センター 生物学科 助教 阿部 博和 | |
| 屋久島における多毛類の多様性調査 | |
| 鹿児島大学共同獣医学部臨床獣医学講座臨床病理学分野 教授 大和 修 | |
| ヤクシカ肉の品質評価に関する研究 | |
| 屋久島野外調査研究会 代表 小原 比呂志 | |
| ヤクスギランド線野外博物館構想 | |

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・孵化場所である海浜の環境を保全するため、遮光林の維持管理を行うとともに、関係機関と協力して保護柵の設置や海岸清掃を行った。

- ・ うみがめ保護遮光林維持管理

| 委託先 | 委託期間 | 実施場所 |
|---------------|-----------------------------|-------------------------|
| 永田区 一湊を語る会 | 令和3年5月12日 ～ 令和4年2月11日 | 永田（いなか浜） 一湊（一ツ浜，二ツ浜） |

- ・ 保護策の設置及び海浜の清掃活動

| 主催団体 | 実施日 | 実施場所 |
|----------------------|-----------|----------|
| 屋久島町エコツーリズム 推進協議会 | 令和3年4月22日 | 永田（いなか浜） |

- ・ マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びウミガメ繁殖環境の保全を行った。

| 実施団体 | 実施日 | 実施場所 |
|------|------------|-----------|
| 栗生区 | 令和3年7月18日 | 塚崎海岸（第1回） |
| 栗生区 | 令和3年11月14日 | 塚崎海岸（第2回） |
| 永久保区 | 令和3年11月28日 | 田代海岸 |
| 永田区 | 令和4年1月22日 | 永田浜 |

② 屋久島動植物調査等事業

環境文化を推進するため学校での副読本として利用されている、屋久島の自然・文化・歴史をわかりやすく図版と写真で解説する「図説・屋久島」の第7版の改訂を行った。

(3) ネットワーク形成

① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの登録、ボランティア団体の支援、ボランティア活動に関する情報発信を行った。

- ・ 環境文化ボランティアの活動（登録者数44名 令和4年3月末現在）
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ほとんどの活動を中止とした。

| 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|-----------|-------------------------------------|------|
| 令和3年6月 | 世界環境デー（中止） | — |
| 令和3年6月21日 | 研修センターオープンデー（中止） | — |
| 令和3年7月～9月 | 誘客活動（フェリー屋久島2及び高速船） （中止） | — |
| 令和3年7月 | 村せん祭り（中止） | — |
| 令和3年11月 | 誘客活動（フェリー屋久島2及び高速船） （中止） | — |
| 令和3年10月以降 | 大型客船見送り （中止） | — |
| 令和4年1月 | ふるさとセミナー 「forestday～森と人がつながる1日～」 | 2人 |

- ・ 企業ボランティアの活動

| 企業名 | 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|------------|---------|---|------|
| アサヒビール株式会社 | 令和3年11月 | レク森協議会とアサヒビール（株）との自然休養林内の共同清掃活動 （中止） | — |

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、島内の学校や事業所への勧誘活動は年度途中から再開し、会員数増加に努めた。また、新たに「LINE公式アカウント」を試行的に立ち上げ、割引クーポン作成やファンクラブへの勧誘準備を行った。

| | |
|--------------|------|
| 屋久島ファンクラブ会員数 | 780人 |
| うち令和3年度新規加入者 | 62人 |

※ 令和4年3月31日現在

③ 財団情報の発信誌発行

- ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 8ページ)の発行(3,000部/号)
全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

| 号数 | 発行時期 | 主な内容 |
|------|---------|----------------------|
| 第78号 | 令和3年7月 | 屋久島に生息するカタツムリとその保全 |
| 第79号 | 令和3年11月 | 『屋久島の歴史ガイド』発刊によせて |
| 第80号 | 令和4年3月 | 屋久島におけるサツキの分布特性と生存戦略 |

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部/月)

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

④ 研究者ネットワークとの連携

屋久島の住民と研究者が共に学び合う組織である「屋久島学ソサエティ」と連携し、12月8・9日に大会を共催し、研究者や専門家による屋久島における調査・研究成果の共有と地元への還元を行った。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

ア 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 協議会事務局の運営と里のエコツアー(里めぐり)を実施した。
- ・ コロナ感染症対策のためのガイドラインを基に安全なツアーを催行出来るように努めた。

(参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員
屋久島町、財団、集落(永田、吉田、一湊、宮之浦、春牧、平内、中間、本村)
- ・ 目的
屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し、屋久島の里地へ観光の幅を広げ、新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・ 屋久島里めぐり参加者数(受入回数)

| 集落名 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|-----|-------|------|-------|-----|-------|-----|
| | 参加者数 | 回数 | 参加者数 | 回数 | 参加者数 | 回数 |
| 吉田 | 144人 | 22回 | 108人 | 17回 | 1人 | 1回 |
| 宮之浦 | 133人 | 35回 | 47人 | 15回 | 90人 | 21回 |
| 春牧 | 225人 | 28回 | 70人 | 17回 | 57人 | 22回 |
| 平内 | 50人 | 8回 | 17人 | 5回 | 15人 | 7回 |
| 中間 | 63人 | 9回 | 14人 | 2回 | 27人 | 6回 |
| 永田 | 55人 | 14回 | 0人 | 0回 | 0人 | 0回 |
| 一湊 | 150人 | 22回 | 78人 | 13回 | 54人 | 12回 |
| 本村 | 3人 | 2回 | 8人 | 2回 | 1人 | 1回 |
| 合計 | 823人 | 140回 | 342人 | 71回 | 245人 | 70回 |

特に令和3年度においては、県政情報テレビや芸能人によるツアー参加と取材、オンラインツアー参画の機会に恵まれ積極的な広報活動に努めた。

イ 里のエコツアーの拡充

環境文化の啓発と観光振興を併せて実現する「里のエコツアー（里めぐり）」について、各種研修会等の開催により、未実施集落の組織づくりや語り部育成などのサポートとともに、語り部のスキルアップ等を図ることとしていた。令和3年度においては、新規加入予定（安房集落）において、講師を招聘して研修会を開催した。

② 屋久島の里づくり推進事業

ア 歴史・文化ガイドブック作成

新たな屋久島の魅力を発信するため、屋久島に伝わる伝統芸能や郷土食等を取りまとめた、手軽に持ち運びができるガイドブック「屋久島の民俗ガイド」（B6版）の発行に対して支援を行った。

イ 屋久島の名所・旧跡等説明看板の多言語化及び維持管理

平成27年度から令和2年度まで設置してきた観光案内看板の多言語化するとともに、破損した看板の補修や清掃等を順次行った。

③ 地域づくり支援事業

伝統文化の継承と環境文化意識の高揚を図り、集落の伝統文化行事等を発掘し、地域資源を保全するため、各集落に伝わる伝統芸能保存会や優れた芸術活動を行っている団体等の支援を行っている。

令和3年度においては、小杉谷集落の閉山から50周年を迎える記念イベントに支援を行った。

| 団体等名 |
|------------------------------------|
| 活動内容 |
| 小杉谷閉山50周年祭実行委員会 |
| 旧下屋久宮林署小杉谷製品事業所が閉山されて50周年を記念するイベント |

④ 特産品開発事業

屋久島町の女性団体等と連携し、町内外に新しい魅力を発信するため、地元食材を活用した屋久島の郷土料理講習会を開催していたが、令和3年度は休止としている。

⑤ 屋久島の未来と環境文化を考える新たな協働事業

ア 世界自然遺産屋久島の未来と環境文化を考える懇談会活動

これまで積み上げてきた「環境文化」を再評価し、次の25年の屋久島の未来、屋久島の自然共生社会の在り方を再構築、創造するため、屋久島の長期的、持続的な発展について意見を交わす懇談会を11月19日に開催し、今後の事業の内容等について意見交換を行った。

イ 屋久島の自然、環境文化を最先端技術映像等で内外に発信する活動

- ・ MBC南日本放送との協働により令和2年度に制作した「屋久島（自然解説編）」について専門家による英語字幕の編集を行った。
- ・ 研修センターに新たに大型モニターを設置し、また、村センターには本事業で制作した映像の利活用を図るため、視聴したい映像を選択して視聴できるシステムを導入した。

ウ 屋久島の環境文化の普及啓発活動

- ・ 屋久島における「里のエコツアー（里めぐり）」の充実を図るため新規集落（楠川、安房）の研修会を10月23日に実施した。また、「屋久島里めぐり推進協議会」のホームページをスマートフォン等対応に改修した。
- ・ 奄美地区との連携を深めるため、3月に喜界島において、講師を招聘し研修会を実施した。また連携事業を見据え、12月に奄美市、徳之島の関係者との協議を行った。

- ・ 屋久島環境文化懇談会委員による「千字コメント」などをとりまとめ、屋久島環境文化村構想を再評価し、今後の屋久島のあり方を探るための啓発本（ムック本）の原案を制作した。
- ・ このほか、環境学習の充実を図るため、タブレット端末や書籍など必要な機材・教材を調達した。

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（23年度～，10回目）

屋久島町の、「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機として町内中学・高校生を派遣する事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行っていたが、令和3年度は休止としている。

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～，9回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学、鹿児島国際大学及び志學館大学の留学生を町内家庭で受け入れ、屋久島の文化や暮らしの体験、町内在住者との交流活動等を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

2 中核施設管理運営事業

(1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託（指定管理者）し，その適切な管理を行うとともに，経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

① 村センター管理運営

入館者

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 対前年度比 |
|----------|---------|---------|---------|-------|
| | | | | |
| 入館者数 | 63,011人 | 35,225人 | 30,757人 | 87.3% |
| うち有料観覧者数 | 13,721人 | 4,538人 | 4,113人 | 90.6% |

貸出施設

| 区分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|---------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 |
| レクチャー室 | 83回 | 87日 | 51回 | 53日 | 70回 | 76日 |
| 交流ホール | 6回 | 154日 | 7回 | 251日 | 6回 | 148日 |
| 大型映像ホール | 4回 | 4日 | 1回 | 1日 | 5回 | 5日 |

ア 施設利用促進策

施設利用促進策については，以下のとおり予定していたが，新型コロナウイルス感染症の影響により，(キ)を除き実施できなかった。

- (ア) 町内宿泊施設等への案内リーフレットの配布・宿泊者への割引制度の実施
- (イ) 鹿児島港南ふ頭や高速船ターミナル，宮之浦港，安房港，町内宿泊施設等へのポスター配布，掲示
- (ウ) 宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場における到着時の定期的な誘客活動
- (エ) 県外のエージェント訪問，誘客
- (オ) 大型客船入港時の誘客活動（客船入港なし）
- (カ) 島内外のイベントにおける財団PR（各種イベント中止）
- (キ) 施設利用料や施設内販売の書籍物品等購入の支払にキャッシュレス決済を導入

なお，最近では自宅パソコンやスマートフォンを利用して旅行気分を楽しむオンラインツアーが開催されており，本施設においても積極的に受入を行い全国へ施設紹介をすることができた。

イ 開館25周年記念イベント

屋久島環境文化村センターの開館を記念したイベントを例年7月に実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

| 開催日 | 内容 | 参加者数 |
|----------------|---------|------|
| 令和3年7月 (中止) | 施設の無料観覧 | — |
| | 映画会 | — |
| | 工作・撮影会等 | — |

ウ 交流ホール展示

| 開催日 | 内容 | 備考 |
|-----------------------------|-------------------|-------|
| 令和3年4月22日 ～4月25日 | 雪の屋久島写真展 | |
| 令和3年5月1日 ～5月30日 | 屋久島の里を知ろう ～安房編～ | 特別企画展 |
| 令和3年6月15日 ～6月27日 | 漉いた紙に書や絵を「かい」で展示 | |
| 令和3年7月1日 ～8月31日 | 「THE 昆虫展&かいがら展」 | 特別企画展 |
| 令和3年10月29日 ～11月28日 | 書・画の展らん会 | |
| 令和3年12月1日 ～ 令和4年1月20日 | 写真展 | |
| 令和4年1月22日 ～2月13日 | 保護猫の譲渡会&地域猫啓発パネル展 | |
| 令和4年2月18日 ～3月20日 | 書と絵の展覧会展 | |

エ 映画上映会

地元財団賛助企業「屋久島電工株式会社」からの助成を受け、12月に2日間の無料映画上映会を開催した。また、財団設立30周年記念プレイベントとして3月19日に、「もののけ姫」を上映した。

| 開催日 | 映画名 | 対象 | 来場者数 |
|------------|-------------|----|------|
| 令和3年12月25日 | 「トムとジェリー」 | 子供 | 175名 |
| 令和3年12月26日 | 「アダムスファミリー」 | 子供 | 96名 |
| 令和4年3月19日 | 「もののけ姫」 | 大人 | 95名 |

② 研修センター管理運営
利用者

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 対前年度比 |
|------|--------|--------|-------|--------|
| | | | | |
| 利用者数 | 7,342人 | 2,794人 | 5,853 | 209.5% |

貸出施設

| 区分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|--------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 | 利用回数 | 延べ日数 |
| レクチャー室 | 18回 | 18日 | 7回 | 7日 | 10回 | 10日 |
| 視聴覚室 | 3回 | 3日 | 0回 | 0日 | 2回 | 2回 |

ア 施設利用促進策

- (ア) 例年、県内及び県外のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や環境科設置校等を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。
- (イ) 冬季対策として町内の未就学児の親子を対象とした一日研修・宿泊研修や町民向けの一日型セミナーを計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
- (ウ) 6月実施予定のオープンデーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した。
- (エ) 「7000年の森」周辺施設である屋久島自然館、世界自然遺産センター、屋久島環境文化研修センターの三者と民間団体から協力をもらい、イベントFOREST DAYを実施し、120名の参加があった。

③ 財団ホームページ管理運用と情報発信

財団ホームページの適正な管理運用を行うとともに、フェイスブックの活用、メールマガジンの発信により、日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めている。

また、インスタグラムで屋久島の風景や財団事業の様子などを発信して幅広い世代への情報発信に努めた。

なお、各種補助金を活用して、財団ホームページをスマートフォン対応としたほか、ファンクラブ会員が自動更新できるようにシステムの整備を行った。

④ 教育機関との連携

令和4年2月10日～12日に行われた屋久島町教育委員会主催の「第12回世界遺産学習全国サミットin屋久島」の共催団体としてサポートをした。

町教委から研修課職員3名が「ESDアドバイザー」に委嘱され、「屋久島型ESD」の推進やSDGsの普及のために町内小中学校の職員研修や授業に招聘されている。

なお、例年町内の教職員の校外研修や中学生の職場体験学習として両施設で受入を行っているが、当年度の希望はなかった。

【収益事業会計】

書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、財団図書や財団オリジナルグッズ（マスキングテープ、キャラクターシール、里に特化したポストカード、キャラクターのスタンプ入りエコバッグ）、屋久島WAONカード、クオカード、屋久島関連書籍、屋久島の植物販売を行った。

今年度は、図説屋久島第7刷の印刷を終え、歴史ガイドを新たに販売している。

【法人会計】

管理費

本部管理費

① 本部管理費

ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、関西地区や屋久島町内等で企業訪問を行い、賛助企業への加入、協力を呼びかけた。

ウ 今後の財団の事業展開等についての検討

令和5年の屋久島世界自然遺産登録及び財団設立30周年も見据え、今後の財団の事業展開等についての検討会の開催や有識者視察等を実施した。

② 職員スキルアップ事業

職員の各種セミナー、学会、講習会、インタープリターズキャンプ等の参加や調査・研究を支援するなど職員のスキルアップを図った。

2021（令和3）年度事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。